



「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」、尾道は昨年度文化庁により日本遺産に認定されました。また、尾道松江線「中国やまなみ街道」の開通など、時代の流れとともに海上だけではなく陸上の拠点としても発展を遂げています。尾道には海も山もある。見渡せる限りの範囲に、船が行き交い、島があり、それを結ぶ橋があり、歴史的な神社仏閣があり、時代とともに再生されたスポットがあり、実に美しく、調和のとれた都市であります。そしてそこに暮らす人々があり、暮らしがあり、まちはまちとして息をしているのです。

「和を以て貴しとなす」とは、あまりにも有名な聖徳太子の言葉ですが、人は相手のある世界、相対的な世界に住んでいます。相対する二つのものが、常に共生と闘争のドラマをつくりつつ生きつがれていきます。常に二つのものが対峙する世界、動物植物に雄雌がある。男女がある。思想において自由と共産の社会がある。それらが各々の立場を主張して譲ることができなければ、常に闘争のループの中に沈んでいくことになります。この箱庭的財産を持つ尾道という都市で追及していくかなければいけないのは、それぞれの「和」ではないでしょうか。また、この財産と人との調和こそが、これらの課題となると私は考えます。

私たちが青年会議所活動を行うことができるのには、諸先輩方が強い意志を持って、明るい豊かな社会の実現に向けて同志を増やし、連綿とその志を継承し続けてこられたからです。しかしながら、まだまだ我々の活動は、まちの人々に認識されているとは言い難い状

況にあります。何を行う団体なのか。どういった団体なのか。その答えを示すべく、地域の問題点を積極的に検証し、解決するために多くの手法を模索し、まちに住む人々と交わり、より良いまちづくりを実行しないかなければなりません。そして、その活動が青年会議所内だけで終わるのではなく、まちや人から賛同を得ながら、それらと「和」を持って、大きな輪を築き、青年会議所としての存在価値や社会的認知度を上げていくことに他なりません。

本年度は全国大会が広島青年会議所主管で行われます。全国の青年会議所会員・OB特別会員が広島に集い、我々は副主管LOMとして会員が「丸となり、『おもてなし』の心、和の心を持って積極的に取り組んでまいりましょう。また、広島ブロック協議会、中國地区協議会、日本青年会議所と積極的に係わることによって、我々は見識を深めることができ、会員としての資質の向上、自己啓発の場、自己的成長へつながることができると確信しています。また、従来の全LOM拡大をより進化させ、個と組織がより連動した仕組みによって積極的に行動できる会員拡大推進会議を立ち上げてまいります。

私たちに与えられた素晴らしい機会の数々は、前向きな変化の連続であり、かけがえのない貴重な経験として蓄積されていきます。また、多くの困難と共に乗り越えていく過程で、一番大切な「人の和」の素晴らしさを教えてくれるのであります。人と人が集まり磨き合は、決して一人の力では成し遂げることができない素晴らしい活動を創造していきます。未来は今を生きる私たちにかかるのであります。このまちは、誇れるものがたくさんあり、様々な可能性と多くの魅力が溢れています。尾道の歴史や伝統文化そして様々な財産を深く学び、夢を持って笑顔で成長していく地域の宝である子ども達に伝え、人びとに育まれる地域愛を創り出し、まちや人に必要とされる活動を目指します。

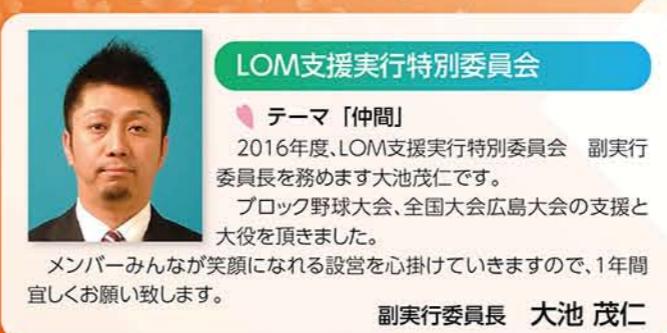
さあ、和の精神を持ち、まちとひとと大きな輪を築き上げていきましょう。



2016年1月7日(木)15時より、麻生裕理事長をはじめとする正副理事長、事務局メンバーで尾道市の良神社へ初詣に行って参りました。緊縛一番取り組もうと一人一人「和」をテーマに祈願致しました。2016年度新鮮な気持ちで良い船出となりました。毎年恒例となつております良神社での初詣ですが、境内には県の天然記念物に指定されている楠の巨木群があり、とても神聖さを感じられる神社だといつも思われます。樹齢は800~1000年とのこと、いつまでも詣でたいと感じさせたれていません。

(記事:村上成司)

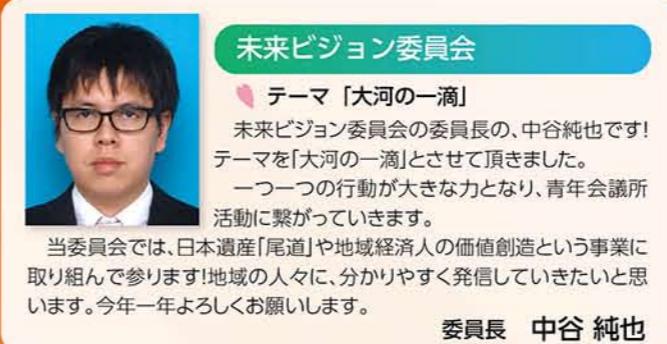
初詣



LOM支援実行特別委員会

テーマ「仲間」
2016年度、LOM支援実行特別委員会 副実行委員長を務めます大池茂仁です。
ブロック野球大会、全国大会広島大会の支援と大役を頂きました。
メンバーみんなが笑顔になれる設営を心掛けていますので、1年間宜しくお願い致します。

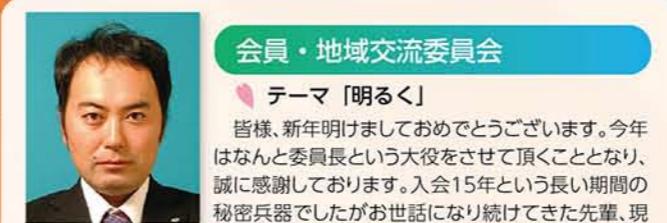
副実行委員長 大池 茂仁



未来ビジョン委員会

テーマ「大河の一滴」
未来ビジョン委員会の委員長の中谷純也です!
テーマを「大河の一滴」とさせて頂きました。
一つ一つの行動が大きな力となり、青年会議所活動に繋がっていきます。
当委員会では、日本遺産「尾道」や地域経済人の価値創造という事業に取り組んで参ります!地域の人々に、分かりやすく発信していきたいと思います。今年一年よろしくお願いします。

委員長 中谷 純也



会員・地域交流委員会

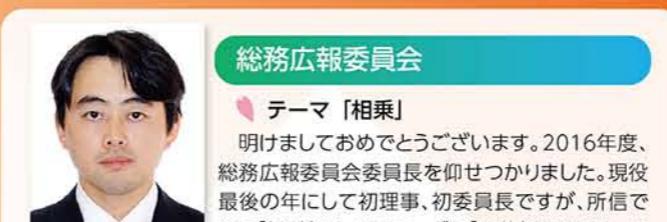
テーマ「明るく」
皆様、新年明けましておめでとうございます。今年はなんと委員長という大役をさせて頂くこととなり、誠に感謝しております。入会15年という長い期間の秘密兵器でしたがお世話になりましたがお世話を続けてきた先輩、現役メンバーのおかげでどうとうお披露目ということになりました。重圧に押しつぶされることなく、私のテーマ通りに「明るく」一年邁進してまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

担当しますのは会員・地域交流委員会です。OB・諸先輩方との交流、会員・会員家族との交流、更には地域との交流が目的の委員会です。とにかく明るくなくてはなにも始まらない委員会です!

委員会メンバーも若手から熟練、細かいタイプからおおざっぱなタイプと様々なメンバーを頂いておりますので心強い限りです。

今年一年は全力で大船に乗ったつもりを抑えつつ邁進していきます。明るく一年を過ごしていきますので温かい気持で見守って下さい。

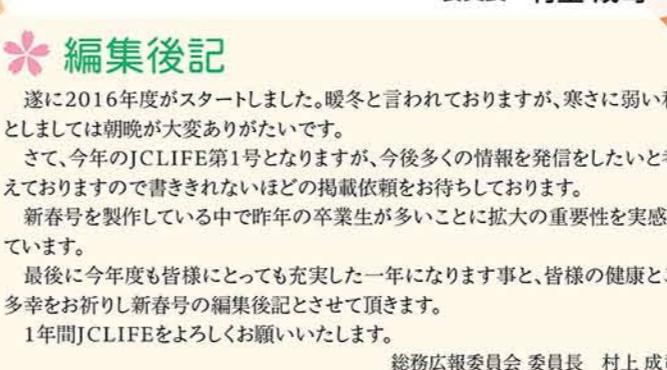
委員長 山本 慎也



総務広報委員会

テーマ「相乗」
明けましておめでとうございます。2016年度、総務広報委員会委員長を仰せつかりました。現役最後の年ににして初理事、初委員長ですが、所信である「相乗」そしてスローガン「開花」を目標とし、この1年間、自分自身に変化をもたらせるよう活動していきたいです。委員会メンバー、現役メンバー全員で力を合わせ心に残る青年会議所活動をしていきましょう。1月例会で早速デビューです。気を引き締めていきます。卒業まで1年間皆様どうぞ宜しくお願い致します。

委員長 村上 成司



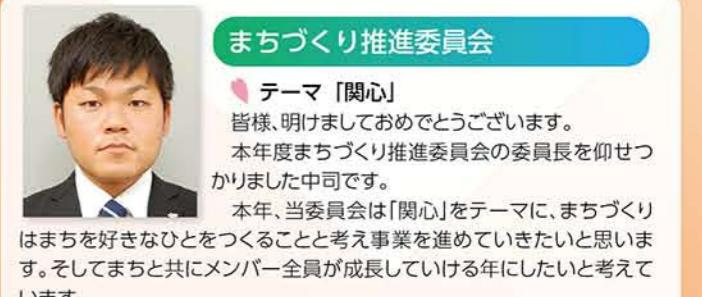
編集後記

遂に2016年度がスタートしました。暖冬と言われておりますが、寒さに弱い私としては朝晩が大変ありがたいです。
さて、今年のJCLIFE第1号となります。今後多くの情報を発信をしたいと考えておりますので書ききれないほどの掲載依頼をお待ちしております。
新春号を製作している中で昨年の卒業生が多いことに拡大の重要性を実感しています。

最後に今年度も皆様にとても充実した一年になります事と、皆様の健康とご多幸をお祈りし新春号の編集後記とさせて頂きます。

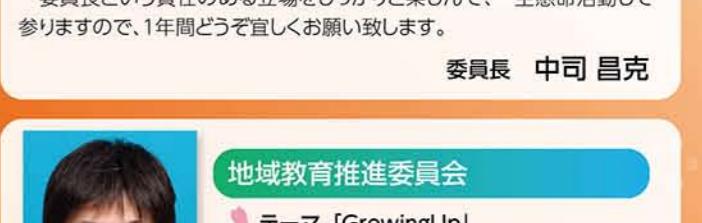
1年間JCLIFEをよろしくお願ひいたします。

総務広報委員会 委員長 村上 成司



まちづくり推進委員会

テーマ「関心」
皆様、明けましておめでとうございます。
本年度まちづくり推進委員会の委員長を仰せつかりました中司です。
本年、当委員会は「関心」をテーマに、まちづくりはまちを好きなひとをつくることと考え事業を進めていきたいと思います。そしてまちと共にメンバー全員が成長していく年にしたいと考えています。



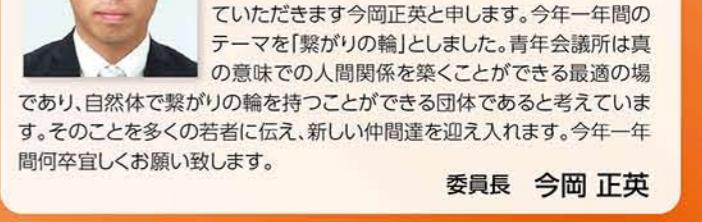
地域教育推進委員会

テーマ「GrowingUp」
皆様、新年明けましておめでとうございます。今年度地域教育推進委員会の委員長を仰せつかりました大西です。テーマを「GrowingUp」と致しまして、常にメンバーと共に成長をめざしていく一年にしていく為にこのテーマにさせて頂きました。しかし、成長を目的に何かを行ふのと結果的に成長をしているのでは違います。現状維持を目指すのではなく一歩も二歩も踏み出し挑戦していくそんな2016年度についています。今年度もどうぞよろしくお願い致します。



拡大研修委員会

テーマ「繋がりの輪」
2016年度拡大研修委員会の委員長を務めさせていただきます今岡正英と申します。今年一年間のテーマを「繋がりの輪」としました。青年会議所は眞の意味での人間関係を築くことができる最適の場であり、自然体で繋がりの輪を持つことができる団体であると考えています。そのことを多くの若者に伝え、新しい仲間達を迎える入れます。今年一年間何卒宜しくお願い致します。



事務局長

あけましておめでとうございます。本年度事務局長を仰せつかりました安楽城と申します。
本年度は麻生理事長がテーマとして掲げる「和」の精神のもと、まずは事務局が一丸となり、縁の下の力持ちとして各委員会の進める事業を円滑に遂行できるよう励んでまいります。また、次年度以降においてもJC活動が行いやすい事務局の形を模索していかないと考えております。
今年一年お願い事も多々あろうかと思いますが、何卒宜しくお願いいたします。



事務局長 安楽城 大作

